



GAH (Gross Arakawa Happiness : 荒川区民総幸福度) について

荒川区民の幸福度指標のこと。荒川区では、「区政は区民を幸せにするシステムである」というドメイン（事業領域）の具体化を図るため、区民の皆様の幸福度を数値化し、区政の指標とするため、現在、調査研究を進めています。

ごあいさつ

荒川区自治総合研究所理事長・荒川区長 西川太一郎

私は、「区政は区民を幸せにするシステム」との考えのもと、真の豊かさにつながる区民の幸福度の向上こそが区政の役割であると考え、全力で区政運営にあたっております。本当に大切なことは、物質的な豊かさや経済効率だけでなく、基礎自治体として区民の皆様が安心して生活できる温かい地域社会を、皆様と共に築いていくことであると考えております。

アジアの小国ブータンのワンチュク国王は、「GNP(国民総生産)よりもGNH(Gross National Happiness: 国民総幸福度)が重要である」として、開発優先の経済発展よりも国民の「幸せ」の最大化を国家の目標として選びました。私

はその着眼点が素晴らしいと考え、基礎自治体として、全ての世代の方々が幸せを実感できる街として、荒川区民総幸福度(GAH: Gross Arakawa Happiness)を区政の尺度として取り入れました。

現在、平成21年10月に荒川区が設立しました荒川区自治総合研究所では、「幸福度」を数値化し、区政運営の指標としていくため、GAHに関する研究を進めているところです。今後、区民の皆様と一緒に考えながらこの研究を進めていきたいと考えております。この度、GAHに関する研究の動きを発信していきたいと考え、「GAH NEWS」を創刊いたしました。今後とも、皆様の一層のお力添えをお願いいたします。



区政は区民を幸せにするシステムである

巻頭言 幸福実感増進こそ自治体の使命 — GAH NEWS発刊によせて —

荒川区民総幸福度(GAH)に関する研究会座長 阿久戸光晴(聖学院大学・学長)



国家と自治体の第一の使命は国民の経済状況向上だけでしょうか。GDPの順位はともかく、国等から見守られている確信が持てるブータンの「幸福度」が世界トップクラスであり、日本のそれが低順位であることは最近の調査でも明らかです。GDP算出基礎に国民の「幸福度」を加えることを提案したのはサルコジ仏大統領であり、大きな影響を与えました。しかしこの「幸福度」の算出基準には多くの議論があり、永遠の課題でしょう。しかし諦念や冷笑では事態は何も変わりません。当研究所は荒川区と連携してこのテーマについて知恵を結集し、この現代的課題に挑戦してまいります。多くのご意見を歓迎いたします。

GAHに関する研究会・ワーキンググループの活動紹介

GAHの研究については、研究会及びワーキンググループの体制で検討を進めていきます。研究会には当研究所の研究員、外部の有識者からなる客員研究員、区職員が参加し、多角的な視点から区民の皆様の幸福とその指標について議論を行います。ワーキンググループは、区職員及び研究所職員で構成され、研究会の議論を踏まえ、行政の最前線に立つ職員の視点から具体的な検討を行っていきます。



研究会の様子

平成21年11月13日に第1回GAHに関する研究会が発足し、今後の研究の進め方等について議論を行いました。



ワーキンググループの様子

平成22年1月21日には、第2回GAHに関する研究会を開催し、平成18年度から区政世論調査で実施しているGAHに関する結果分析報告、海外における幸福度指標の調査結果報告等を行いました。

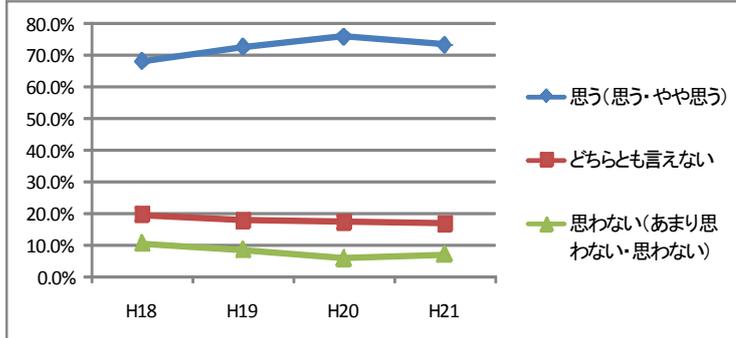
GAHワーキンググループは、現在まで3回開催しました。現場職員の視点から、区民の皆様のニーズや、事業の実施がどう区民の皆様の幸福に結びつか等について活発な議論を行っています。

GAHの研究に関する動向

荒川区では平成18年度より、区政世論調査において、区民の皆様の幸福度について質問しています。

「あなたは幸せだと思いますか。」という質問に対する回答結果は右表のとおりです。

概ね7割近くの方が幸せだと「思う」と回答しており、「思わない」は1割程度となっています。



GAHに関するニュース

平成22年1月19日に、社団法人関西経済同友会が設立した経営塾「サイバー適塾」に所属する同会会員企業の若手リーダーの皆様がGAHの視察に見え、意見交換を行いました。

研究所が昨年10月1日に設立されてから20件近い取材や視察がありました。各マスコミからも多数の取材を受け、読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、東京新聞、共同通信社、日経グローバル、山形新聞、山梨日日新聞、福島民友、上毛新聞等に記事が掲載されており、GAHへの関心の高さが伺えます。



(撮影:サイバー適塾)

編集部より

本紙では、GAHに関する最新動向やニュース等を毎月お届けしていきます。左記のメールアドレスまで、ご意見・ご感想等をお寄せいただければ幸いです。

荒川区自治総合研究所は、荒川区が抱える課題等について、多角的かつ中長期的な視点に立って調査研究を行い、区に政策提言を行うことを目的として平成21年10月に設立された機関です。